

4-4 水生生物のコアゾーンづくり (久知河内：ホタル、サケ、長安寺、川)

久知河内ホタルの会の指導を受けて、ビオトープや環境保全型水田の管理作業を体験します。季節や人数、条件によっては、林や川の保全管理作業の場合もあります。

■久知河内ホタルの会

3-7 参照。

久知河内ホタルの会は、久知河内地区の集落合意の上で作られた組織です。主なメンバーには、農家、大工、元役所職員などがいます。毎年、大学生のグループを受け入れての保全活動、佐渡島内外の家族向けに米作りの年間を通した体験活動の受け入れ、ホタル祭りの運営とホタルやサケが川に帰ってくるための整備活動を続けています。

春にはヤマアカガエルの産卵調査、ドジョウが増えるようにするための技術調査、実験なども行っています。

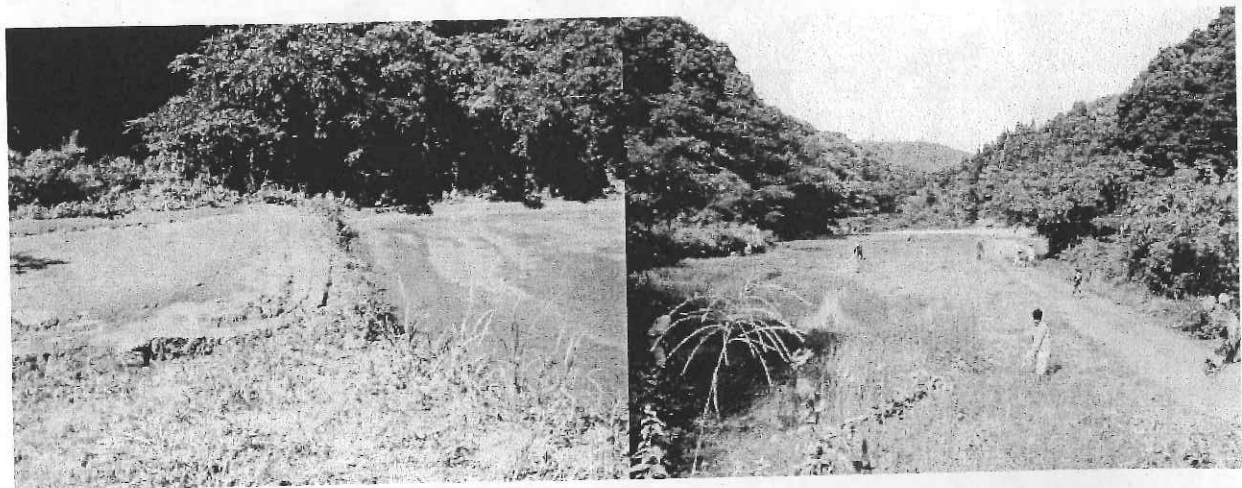
■コアゾーンづくりの内容

主な内容としては、畦や江の修復、草取り、土のかく乱作業を行います。畦や江の修復作業は、スコップを使い、モグラの穴や水の流れて欠けた部分を盛り土して固めていきます。草取りは、田んぼの草取りと同じで、手で抜いていきます。また、水を張ったビオトープを歩き回って、草を踏み、土をかき乱していきます。

ホタルを増やすためには、幼虫のエサとなるカワニナがよく育つ環境が必要です。カワニナが生息できるような流水に変化のあるきれいな水環境を維持するために、水路の掃除なども行います。

所要時間：3～4時間（着替え、休憩、観察なども含む）

着替え等は、久知河内公民館、長安寺、民家。





久知河内地区のビオトープづくり、農業体験、川の生きもの調べ、ホタル。